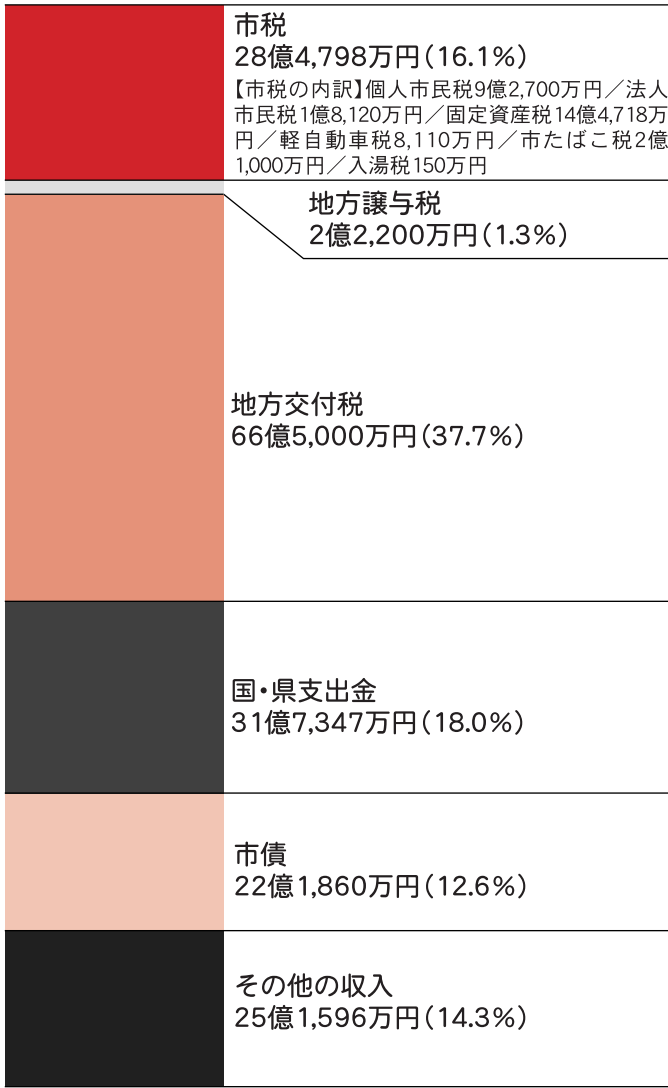
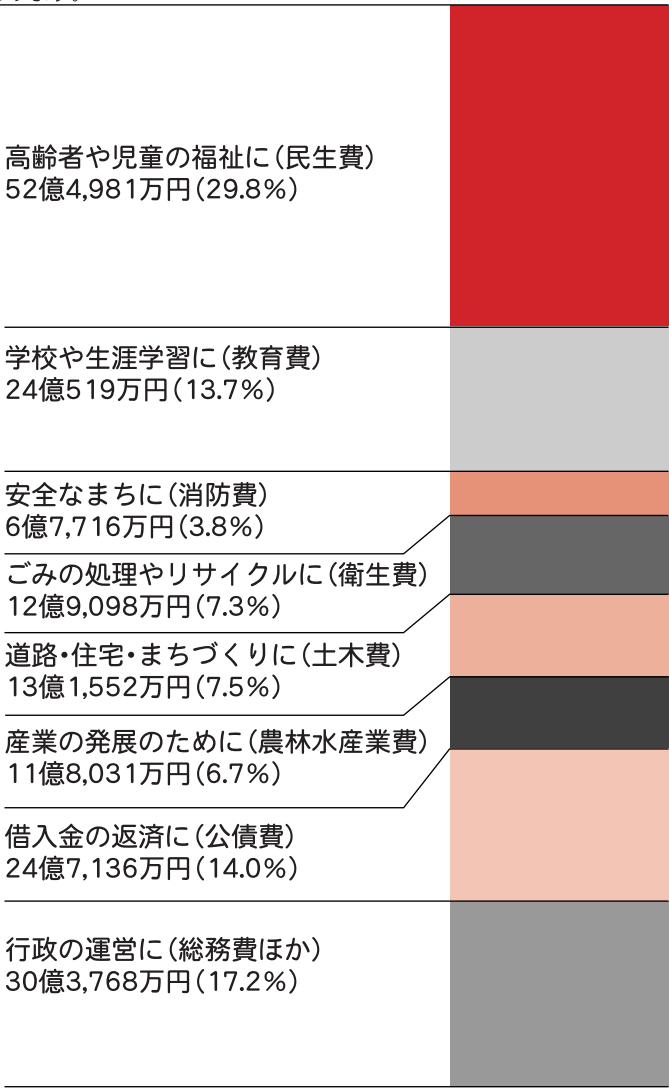


「人生まるごと応援プラン」として
定住促進・ライフサポートを進め、
「住んでよかった」「住み続けたい」「住んでみたい」
と思える魅力あるまちづくりを目指します！

▼一般会計歳入



▼一般会計歳出



一般会計総額
176億円

平成25年度一般会計の
市民1人あたりの予算額
561,687円

- 民生費…………… 167,276円
- 教育費…………… 76,637円
- 消防費…………… 21,576円
- 衛生費…………… 41,135円
- 土木費…………… 41,917円
- 農林水産業費…… 37,609円
- 公債費…………… 78,746円
- 総務費ほか……… 96,791円

※1人あたりの数値は、平成25年3月31日現在の人口31,384人で割ったものです。

特別会計		総額約100億円
国民健康保険		41億9,131万円
後期高齢者医療保険		3億7,397万円
介護保険		35億7,459万円
地域包括支援センター事業		4,940万円
簡易水道事業		4億1,396万円
農業集落排水事業		2億1,954万円
公共下水道事業		8億1,331万円
特定環境保全公共下水道事業		3億1,517万円

公営企業会計		総額約37億円
水道事業	(収益的収支)	3億9,924万円
	(資本的収支)	2億3,138万円
工事用水道事業	(収益的収支)	1,900万円
	(資本的収支)	1,427万円
山香病院事業	(収益的収支)	29億1,018万円
	(資本的収支)	1億5,902万円

※公営企業会計については収入額と支出額のいずれが多い額を掲載しています。

▼普通交付税については、平成27年度までの合併特例措置と、その後5年間の経過措置を経た平成33年度には、現行に比べ1年間で約10億円減額されると推計されます。
今のうちから将来を見据え、安定した財政運営を構築していきます。

▼歳出では、普通建設事業が前年比41.0%増の約29億4,000万円となつています。これは、杵築中学校や杵築幼稚園の改築を始め、大田統合小学校や大田こども園の整備によるものです。

保育料の助成や児童手当などの子育て支援には、昨年と

同程度の約6億4,300万円、複式学級の支援など学校教育の充実のために1億808万円を計上しています。

地域の活性化対策としては、新規メニューを取り入れた定住促進補助金として2,200万円、地域活力創出事業交付金として1,000万円等を計上し、雇用対策として緊急雇用対策事業に1,213万円、地域雇用創出推進事業として住宅リフォーム補助金等6,238万円を予算化しています。

また、特別会計はおおむね例年どおりですが、熊野地区の簡易水道整備に伴い、簡易水道事業費を前年度より約2億円増額しています。

【一般会計】
約4億の増加

今年度の一般会計は、昨年度と比べて4億1,000万円(約2.4%)増の176億2,800万円です。

▼杵築市単独の収入である「市税」では、景気低迷による減少傾向を踏まえ、前年度より約7,000万円(2.4%)の減収、一方「地方交付税」では、前年度より約1億5,000万円(2.3%)の増収を見込んでいます。

市債では合併振興基金分が3億3,000万円減少したものの、小学校や幼稚園の整備費等の増額により、前年度に比べ3億6,700万円(1.8%)増加の約22億2,000万円を計上しています。

財政上の合併特例措置期限まで、残り3年――迫る平成28年度以降を見据えた体制づくりへ！

杵築市においては、これまでも行政改革と財政健全化に向けた取り組みを進めてきました。

しかし、雇用環境や企業経営の改善は依然として厳しい状況にあることから、市税収入の大きな伸びは見込めず、一方で扶助費や公債費が高い割合にあるなど厳しい財政運営を余儀なくされています。

こうした現状を踏まえながら、平成25年度より4年計画で策定される第2次行政改革大綱における行政改革アクションプラン(後期プラン)の実行を通じ、引き続き行政改革に積極的に取り組みます。

また、学校教育や医療の充実に努めるほか、「人生まるごと応援プラン」を推進し、あらゆる世代が安心して暮らせる杵築市を目指します。